

1. 各地で年頭訓練を実施



【舞鶴海上保安部】
制圧術訓練



【小樽海上保安部 巡視船ほろべつ】
消防本部と年頭合同潜水訓練



【金沢海上保安部】
消火・放水訓練



【名古屋海上保安部 巡視船みずほ】
航空自衛隊航空機による
「みずほ」への離着船訓練

海上保安庁では、冬季における海難等への迅速な対応を図るため、全国各地で年頭訓練を実施しました。潜水士や機動救難士等による海難救助訓練、火災船を想定した消防訓練や、逮捕術による制圧術訓練、消防や自衛隊、民間フェリー会社などとの合同訓練を行いました。海上保安庁は今年も事件事故に備えて日々訓練を行っていきます。

2. 漁船転覆 55歳船長15時間立ち泳ぎ!



1月6日、宮古島消防署から、漁船が転覆し人が見当たらないとの情報を受け、宮古島海上保安署巡視艇やえづき、石垣航空基地へリ、潜水士及び警察、消防、僚船で捜索中のところ、転覆していた漁船から沖合い約500メートルの海上で漂流中の船長を警察艇が発見、巡視艇やえづき搭載艇により無事救助しました。発見時の海上模様は水温21℃、東の風8メートル、波高1.5メートルで波浪注意報が発令の中、なんと15時間も立ち泳ぎをして救助を待っていました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでご覧いただけます。
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関 2-1-3
03-3591-6361 (代表)

(編集・企画) 海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

海の「もしも」は**118番**

